

播磨科学公園都市圏域定住自立圏通信

～西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して～



「電子図書館」サービスを開始

■ 播磨科学公園都市圏域定住自立圏の経緯

全国的に大幅な人口減少と急速な少子・高齢化が進んでおり、西播磨の市町においても例外ではありません。

このような状況を踏まえ、安心して暮らせる地域を形成すべく、市町相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体の生活機能を確保し、圏域全体の活性化を図るため、たつの市が、圏域の中心的な役割を担う「中心市」となり、宍粟市・上郡町・佐用町で構成する『播磨科学公園都市圏域定住自立圏』を形成しました。

構成市町の住民代表や政策分野に関係する団体などの代表者で組織するビジョン懇談会における検討や、パブリックコメントによる圏域住民からの意見公募手続きを経て、圏域の将来像や、各政策分野において連携して実施していく具体的な取組内容などを定めた「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン」を平成28年9月27日に策定（平成29年9月27日改定）し、各政策分野における連携事業に取り組んでいます。

■ “定住自立圏”^{ていじゅうじりつけん}って(?!?)

定住自立圏構想は、人口5万人程度以上などの条件を満たす中心市と周辺市町とが、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、圏域全体の活性化を図る自治体間連携の取組です。



こんな連携事業を実施しています！

定住自立圏の各政策分野における主な連携事業について紹介します。

生活機能の強化

◇児童・生徒交流事業の実施

10月に三河小（佐用町）と都多小（宍粟市）の3、4年生、11月には揖西西小（たつの市）と河東小（宍粟市）の4年生が、SPring-8の施設見学や西播磨総合リハビリテーションセンターで福祉体験を通して交流を行いました。



◇西はりまロードサイクリング大会の開催

10月に光都まちびらき20周年記念事業と併せ、播磨科学公園都市光都プラザ前芝生広場を発着点としロードサイクリング大会を開催。また、各種スポーツ体験ができるスポーツフェアを開催しました。



◇在宅医療・介護連携 ICTシステムの運用

医療と介護の両方を必要とする高齢者の方に対し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、医師会と連携し、在宅医療・介護連携 ICTシステムの運用を推進しています。

◇「福祉資格取得助成事業」「生活支援サポーター養成事業」

福祉施設等に勤務する職員又は勤務する予定の方に対して、資質向上・スキルアップを図るため、福祉資格取得に係る受講料などを助成するとともに、合同研修会を開催し、生活支援サポーターを養成しています。

◇「海と山と古都町めぐり」の発行

2市2町の魅力やグルメを紹介する観光ガイドブックを作成しました。30年度には、このガイドブックをもとに周遊観光ツアーを実施する予定です。



◇「西播磨ビジネスマッチング事業」「たつの・宍粟・上郡・佐用 就職・定住応援フェア」

3月に西播磨の企業間、住民との出会いの場となる「ビジネスマッチング事業『凄ワザ！企業がてんこ盛り in たつの』」を開催しました。また、圏域で就職を希望する学生を対象とした「就職・定住応援フェア」を同時開催しました。



◇読書講演会の開催

読書への関心を持ってもらおうと、11月にアルピニストの野口健氏の講演会を上郡町で開催しました。30年度には、キャスターの清水健氏の講演会を予定しています。



◇「電子図書館」サービスの開始

電子書籍の貸出サービスを1月から開始しました。電子書籍は、インターネットに接続できる環境があれば、パソコンやスマートフォン、タブレット端末を使って24時間どこからでも利用できます。利用には、事前登録が必要です。

◇図書館連絡便

図書館の相互利用サービスを充実させるために、圏域内の図書館で借りた本であれば、どの図書館窓口でも返却できるように本の連絡便を運行しています。

結びつきやネットワークの強化

◇圏域バス（愛称：てくてくバス）の運行

公共交通ネットワークの充実を図るため、西播磨総合リハビリテーションセンターなどが所在する播磨科学公園都市を結節点とした、圏域バス「てくてくバス」（1乗車200円）を運行しています。4月からダイヤ改正とバス停の追加を実施しています。



◇合同定住相談会の開催

6月と12月に田舎暮らしの相談や空き家紹介など、圏域への移住や定住に関する合同相談会を大阪で開催しました。



◇シティプロモーションツアー（HARIMAXヴィレッジ バスツアー）の開催

企業向けに、2市2町のグラウンドや体育館、ホールや天文台、道の駅や宿泊施設などの観光資源の魅力を伝え、大会や合宿、イベントなどを誘致することで交流人口を増やすことを目的としたバスツアーを開催しました。



◇播磨の魅力発見 婚活バスツアーの開催

観光名所を散策しながら交流を深める婚活イベントを3月にたつの市で開催しました。

圏域マネジメント能力の強化

◇圏域内市町職員交流事業の実施

職員の能力及び資質向上を図る2市2町合同研修会を開催しました。



◇駐車・駐輪場料金の一部助成

新たに定期乗車券を購入し、姫新線を利用して通勤・通学等される圏域住民の方に対して、駐車・駐輪場料金の一部を助成しています。

《その他の連携事業》

- ◇感染対策の電話相談・出前講座
- ◇高齢者等SOSネットワーク構築事業
- ◇病後児保育施設の相互利用
- ◇防災リーダー養成事業
- ◇広域避難所災害用資機材の備蓄
- ◇食べきり運動応援事業
- ◇環境美化啓発看板設置事業
- ◇巡回パネル展の開催
- ◇地域経済循環調査事業
- ◇地産地消体験活動推進事業
- など

事業の開始時期や事業内容の詳細については、広報誌、ホームページなどでお知らせします。

共生ビジョンの改定！

平成29年9月27日に「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン」を改定しました。主な改定内容は次のとおりです。

- 圏域の将来像として、圏域人口の基本目標を設定しました。

圏域人口 (国勢調査)	実績値 平成22年 (2010年) 157,357人	実績値 平成27年 (2015年) 147,926人	目標値 平成32年 (2020年) 144,200人	目標値 平成37年 (2025年) 138,700人
----------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

- 具体的取組内容に成果指標（KPI）を設定しました。

《成果指標（KPI）の例》

取組内容	重要業績評価指標（KPI）	現状値 (H28)	目標値 (H32)
電子図書館事業	電子図書館年間貸出冊数	(新規)	5,000冊
観光客誘致対策事業	観光客年間入込数	4,300,000人	4,700,000人

【定住自立圏各市町担当課】

- ◆たつの市企画財政部企画課（☎0791-64-3141）
- ◆上郡町企画政策課（☎0791-52-1112）
- ◆宍粟市企画総務部地域創生課（☎0790-63-3066）
- ◆佐用町企画防災課（☎0790-82-0664）

- ◆専用ホームページ [播磨科学公園都市圏域定住自立圏](#)

検索



【平成30年4月発行】